



日本共産党 北区議会議員

のの山けん区政レポート

https://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.694 2023.9.13

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

本気の気候危機対策を

北区議会第3回定例会 日本共産党・山崎たい子議員が代表質問



代表質問する山崎たい子議員

11日、区議会第3回定例会が開会し、日本共産党の山崎たい子議員が代表質問に（12日の個人質問は裏面）。異常な猛暑日が続く中、気候危機対策に本気で取り組むよう求めました。（のの山けん）

国連事務総長が「地球温暖化の時代から地球沸騰の時代に入った」と表明するなど、世界各国に異常気象が広がる下で、気候危機対策はまったなしの課題となっています。

北区でも2050年までにCO2排出を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ北区」を宣言し、30年までのカーボンハーフ実現を求めました。

区長は、「新築案件については原則ZEB（ゼロエミッション）相当以上をめざし、既存施設でも改修の機会をとらえ、可能な限りZEB実現に必要な技術を採

用していく」と答えました。

また、緑を貴重にしたまちづくりは都市のヒートアイランド対策や水害対策としても重要だとし、駅周辺のまちづくりでも既存の公園を残すことや、さらに緑を増やす取り組みが重要だと強調。再開発によるタワーマンションの建設は床面積が大きくなることや、冷房の大量使用によってCO2排出量が高くなる点を指摘し、「タワマン建設は区として抑制する必要があるのでは」と追及しました。

学校・区有施設のZEB化推進を

山崎議員はまず、省エネや再エネ利用による学校や区有施設などのZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）化推進を提案。再エネ100%電力については、地方の友好都市とも連携したカーボンオフセットの取組みの促進を求めました。

タワマン建設は区として抑制を

岩淵町 防災訓練

10日、八雲神社で開かれた岩淵町自治会防災訓練に参加。関東大震災から100年、災害に備える地域力を高める必要があります。（のの山けん）



指定管理導入で 公園清掃体制削減



個人質問

野口まさと
議員

野口議員は、区立公園に指定管理者制度が導入されて2年目となり、公園清掃業務の体制が大幅に削減されている問題を取り上げ、区を追及しました。

実際に清掃に携わる方からの「決められた人員・時間では公園内全域を清掃することは到底できない」、「草むしりなども手が回らない」といった証言も紹介しながら、指定管理になって清掃等にかかる人員体制、予算額がどのように変わっているかを質問。区は、「直営時代と同規模の予算を確保しており、人員についてはおおむね同程度となっている」と答えました。

これに対し、野口議員は再質問で、「私たちの調査では、飛鳥山公園で予算が約3分の1、清水坂公園で約4分の1に減らされている。指定管理の導入で、人件費が大幅削減されている実態を区としてしっかり調査し、是正すべきだ」と重ねて迫りました。

身寄りのない人を 支える支援を



個人質問

せいの恵子
議員

せいの議員は、長引くコロナ禍や物価高騰の中で、身寄りのない区民からの相談を受けることが多くなっているとのべ、収入が減って民間賃貸アパートの更新に苦慮する50代女性や、緊急入院の際に保証人を立てるよう言われたが見つからず困っている70代女性の

例を紹介。身寄りのない方へ、区として厚い支援が必要ではないかと訴えました。さらに、新潟県魚沼市で、行政が主体となり、医師会を含め地域の主要な機関が加わる検討会を設置して策定した「身寄りのない方へのガイドライン」が大きな力を発揮している

る先進例を紹介。北区でも身寄りのない人の実態把握調査を行うことや、ガイドラインを策定することを提案しました。区長は、「現時点では身寄りのない方に特化した調査は考えていないが、相談支援機関と連携した対応に努める」などと答えました。

大規模改修中の北とぴあ

稲田小学校に 一時移転

区は、2025年度から2か年にわたって休館し大規模改修を行う北とぴあについて、現在館内にある産業・文化関連団体および地域振興各部課と総務部多様性社会推進課を、24年3月末で閉校予定の稲田小学校に移転することを発表しました。(のの山けん)

